

(Web研修会のご案内)

認知症の症状に対する包括的な関わり方
～生活史の活かし方～

拝啓 夏至の候、貴社におかれましてはますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

この度、リハビリテーションカレッジにて臨床で悩むことの多い認知症症状に対するセミナーをご案内させていただきます。安全な環境で自己研鑽が行えるようzoomでの配信となっております。当協会はこれまで14年に渡り、のべ45000人以上の療法士が受講され、高い評価を頂いております。ぜひ万障繰り合わせの上、ご参加くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白

【研修会詳細】

<早期割引中>

《8月3日》まで2,200円OFF

現在、認知症患者数は約602万人となっており、6人に1人程度が認知症有病者人であり、今後も増え続けると言われます。リハビリの対象となる人にも認知症になっている人が増えているのではないのでしょうか？特に臨床では、記憶障害などの中核症状だけでなく「妄想・徘徊・暴力」など、その多様な認知症症状の対応に悩むことが多いと聞きます。

実際、

- ・どう対応すれば落ち着いてもらえるか分からない
- ・生活史を調べるが、それをどう使ったら良いか分からない
- ・そもそも、何が正解かわからない

というように、一人ひとり異なる症状や個人因子がある中で、どのように対応をしたら良いか正解が分からず、自信が持てないことが多いようです。

認知症症状は、記憶障害、見当識障害、遂行機能障害などの「中核症状」や、暴言暴力・妄想・俳諧・無気力などの「行動・心理症状」など、様々な症状があります。

個人によって現れる症状は異なり、またその症状が現れる原因も個人因子などにより異なるため、対応ももちろん患者様・利用者様一人ひとりに合わせる必要があります。

この講義では多様な症状の対応に悩むことが多い認知症において、疾患概要から症状の対応方法、ご家族様との関わり方、詳細評価とプログラム立案、介入時の留意点までを、基礎から学ことができます。

新人療法士はもちろん、「基本を整理したい方」「生活期^記・維持期に携わる方」「認知症の患者様と関わる方」など、幅広い層の療法士におすすめします。

【研修会名】認知症の症状に対する包括的な関わり方

【会場】ZOOMオンライン会議システムを利用

【日時・内容】

第1回：2026年8月24日(月) 20:00-21:00 「認知症の基礎知識と基本的な対応方法」

第2回：2026年9月 7日(月) 20:00-21:00 「対象者に適した介入のための評価とプログラム」

【講師】加藤 淳 先生(作業療法士、リハカレ認定講師)

【お申し込み】

【料金】8,800円税込 ▶ 早期割引 6,600円税込(8/6まで)

【締め切り】2026年8月22日(土)

【詳細申込】右記QRコードか

<https://bit.ly/4vkINn0FAX> よりご確認ください。

<お問い合わせ> 連絡先:office@iairjapan.jp

※今後FAX不要の場合は「施設名」「FAX番号」をメールでご連絡お願い致します。FAXによるご返信ではご連絡を承っておりませんので、どうぞご了承ください。

